

3年 総合的な学習の時間 指導案

門真市立北巣本小学校

指導者 堤 崇

①実施日時 令和6年 11月20日(水)

②学年・組 3年1組 29名

③単元名 わたしたちの町、ステキ、発見！ ～スーパーマーケット探究アドベンチャー～

④単元の目標

◎自分たちの市町(門真)の施設や歴史、人々の思いにふれたり調べたりする活動を通じて、自分たちの町や地域の人々について探究的に学ぶことができる。

⑤評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・スーパーマーケットや商店の工夫や課題点について理解している。 ・見学やインタビューなどの活動を通して学習したことをグループで話し合うことができる。	・「自分たちのすむ地域の施設や人々の思いについて」必要な情報を収集し、ICTを活用して情報を整理分析している。 ・自分たちの調べたことについて、考えや思いをもち、ICTを活用してまとめたり、表現したりしている。	・自分たちの地域で働く人々について考える探究活動に進んで取り組もうとしている。

⑥児童観・教材観・指導観・研究との関連について

- ・自分から主体的に学習することは苦手で、指示を待っている傾向にあったが、子どもたちが自ら疑問をもつことで、スーパーマーケットの学習に主体的、探究的に取り組めるようになっていく。
- ・ICTの活用に関しては、スプレッドシートを活用して、めあてやふりかえりを入力することを試みたが、基本的な使い方がまだできず、シートを消してしまったり、友だちの入力したものを変えてしまったりすることが多発した。(1学期理科)それゆえ、ほぼ0からのスタートで使い方を学ぶ必要があった。
タイピングの練習からはじめ、クロームOSの使い方、ブラウザの活用、スプレッドシート・スライドの活用、友だちとの情報共有、ショートカットキーの学習などを経た結果、満足に活用できなくとも、使うことに対して自信をもち、新しい使い方にチャレンジできるようになった。
- ・児童が、ひとりで収集した情報の中から必要な情報を取捨選択し、情報分析する力はまだまだ乏しい。しかしながら、ICTを活用して必要なことを調べたり、調べた情報を思考ツールを使って整理分析したり、また整理した情報をまとめ、共有するといった方法を学習することで、主体的に学び、互いの意見を交換し合えるようになり、深い理解を促せるようになってきている。さらに、国語科で学んだ司会をたてた話し合いの方法や、社会科のお店ではたらく人など他教科の知識を活用できるようにしたい。
- ・1学期の社会科の学習で、門真市内の歴史や文化について学び、市内巡りにも行った。その時、子どもたちは、道中にあったスーパーマーケットについての話題で盛り上がり、「詳しく調べてみたいな。」という声が聞かれたので、2学期の総合的な学習の時間の教材に設定した。
- ・しおりを作成する際に使用するスライドについても、はじめての活用経験であるため、基礎から使い方を学んでいく必要があったが、ICTを活用して、各々がオリジナルのしおりを友だちを協力しながら、主体的・対話的に作成することができた。

⑦単元指導計画(全三十五時間)

時	子どもの学習活動	指導上の留意点	主な評価規準	研究との関わり
第一時	・一学期のふりかえり ・スプレッドシートの使い方を学ぶ。	・単元の見通しをもたせるために、単元でつける力を明確にする。 ・学習の意欲を高め、主体的な学びとなるように、学習計画を立て、達成目標を考えられるようにする。	【知】一学期の市内めぐりについて地域にどんな施設があるか理解している。〔発言〕 【技】スプレッドシートを使ったり、タイピングを練習したりしている。〔記述〕	【課題設定】スプレッドシートの使い方を学ぶ。
第二時	・めあてをスプレッドシートで入力する。 ・買い物調べについて説明を聞く。	・スプレッドシートに慣れるように支援を行う。 ・買い物調べワークシートについての説明を保護者にも手紙で伝える。	【技】スプレッドシートに、タイピングでめあてを入力できる。〔記述〕	スプレッドシートを使ってみる。
第三時	・めあてやふりかえりをスプレッドシートで入力する。 ・スライドを使ってみる。 ・買い物調べで張ったレシートの分析をする。	・話し合いのまとめをスライドを使って行ってみるよう伝える。 ・クラスルームにスライドを提出させ、確認する。	【技】スプレッドシートに、タイピングでめあてを入力できる。〔記述〕 【技】スライドに絵を貼り付けたり、文字を入力したりする。〔記述〕 【思】レシートに何が書いてるか分析している。	スプレッドシートに慣れていく。 スライドを使ってみる。
第四時	・スーパーマーケットがたくさんのお客さんをひきつける為にどんな工夫をしているか考える。 ・スプレッドシート共同編集で友だちの意見を見る。	・工夫を考えることにより、見学をめあての見通しをもたせることにつなげる。 ・保護したスプレッドシートの活用	【技・思】スプレッドシートのセルを分類して、タイピングでスーパーマーケットの工夫について入力している。〔記述〕	スプレッドシートで友だちの情報共有し、友だちの意見と自分の意見を比較する。
第五・六・七時	・スーパーマーケット見学の計画をたてる。(めあて、ルール、もちものなど) ・質問を考える。 ・しおりに載せる内容を考えさせる。	・自分の知りたいこと、聞きたいことを、友だちと相談しながらまとめていく。また、スプレッドシートで情報共有も行う。質問のテーマを伝える。	【知技・思判】スプレッドシートのセルに、スーパーマーケット見学のために必要なことを分類して、まとめることをしている。〔記述〕	スプレッドシートで自分の意見を整理する。

第八時	・スーパーマーケット見学のしおりを作る。 (表紙はつくっておく)	・全員がひとり1つ、自分のしおりを作る。 ・しおりを作成するときに、春の遠足を思い出させる。 ①コツコツコース ②すいすいコース ③神コース の3つのコースをえらばせる。	【表・技】スライドにスプレッドシートにまとめた内容について表している。足りない情報について追加で調べている。〔記述〕	スプレッドシートでまとめたものをスライドに起こす。
第九・十・十一時	スーパーまでの経路を地図で確認し、出発する時間を決める。 しおりを完成させる。	・友だちのしおりを見て、自分のものを改良する。	【技】クロームブックでMAPを使って目的地の場所や経路を調べようとしている。	クロームブックのMAPを活用する。
第十二・十三・十四・十五時	・スーパーマーケットを見学をする。	・自分たちがきめたルールを守ることや、めあてを再度確認する。	【思】スーパーマーケットの見学をしたり、情報を収集したりしている。〔発言〕	写真を撮影する児童はクロームブックを持って行く。
第十六・十七・十八時	・ふりかえり ・お礼の手紙	・スーパーマーケットを見学をする。ルールや、めあてができた、持ち物に過不足がなかったかふりかえらせる。 ・感謝の気持ちや学んだことを手紙に表現させる。	【思・表】スーパーマーケットの見学を思い出し、情報をまとめている。〔記述〕	・見学の時に撮影した写真を見て、思い出しながら書いていく。
第十九・二十時	・スーパーマーケットの学習を次にどう活用するかを話し合う。	・人に伝える。 ・更に深く学習する。 ・別の関連する学習をする。 などから考えさせる	【思】スーパーマーケットの情報の活用方法について考えている。〔発言・記述〕	スプレッドシートで友だちの情報共有し、友だちの意見と自分の意見を比較する。

第二十一・二十二時	・スーパーマーケットの学習をどんな方法で人に伝えるか、誰に伝えるか考える。	・自由な発想を重視し、できる・できないを考えず、できるだけたくさんの意見を考えさせる。	【思】スーパーマーケットの情報の発信方法について考えている。〔発言・記述〕	スプレッドシートで友だちの情報共有し、友だちの意見と自分の意見を比較する。
第二十三・二十四時	・人に伝えるために ①どうしたら伝わりやすいか ②どうしたら楽しく聞いてもらうことができるかを考える。	・自分たちの楽しかった体験を考えさせる。	【思】スーパーマーケットの情報の発信方法について考えている。〔発言・記述〕	スプレッドシートで友だちの情報共有し、友だちの意見と自分の意見を比較する。
第二十五時 本時 第二十六・二十七時	・スーパーマーケットの学習を人に伝えるため準備をする。 作ったアイテムをパワーアップさせ、完成させる。	・スプレッドシートを活用して情報共有し、同じ目的をもった友達と協力してもよいことを伝える。【協働】 ・作成したもので本当に相手に伝わるか、楽しめるか、さらに工夫できるところがないか確認させる。	【思判表】・スーパーマーケット見学で集めた材料を活用して、発信に必要な情報を整理し表現できる。	スプレッドシートで友だちの情報共有し、同じ目的の友達を確認する。 【まとめ・表現】 ツールとしてのICTの活用 (スライドなど)
第二十八・二十九時	・アイテムを使った練習・役割調整・段取りをする。	・実際の発表と仮定して、練習を行う。	【思判表】スーパーマーケット見学の発信に必要な役割をえらぶことができる。	

第三十・三十一時	・学級内でリハーサルをし、改良する。	・別のグループに発表し、評価してもらう。	【表】スーパーマーケット見学の発信の練習ができる。〔発表〕	
第三十二時	・人に伝える。		【表】スーパーマーケット見学の発信ができる。〔発表〕	ICTを使う人はICTを活用する。
第三十三時	・ふりかえり	・できたこと、がんばったこと、できなかったこと、よりよくする為にどうしたらよいかを中心に考えさせる。	【思・表】スーパーマーケットの見学を発信したことについてふりかえている。〔記述〕	スプレッドシートで友だちの情報共有し、友だちの意見と自分の意見を比較する。
第三十四・三十五時	・これから(3学期)の活動について議論する。	・3学期の活動について想像させる。	【思】2学期に学習したことを活用できているか。	スプレッドシートで友だちの情報共有し、友だちの意見と自分の意見を比較する。

⑧ 本時

(1) 本時の目標

- ・スーパーマーケットの学習を人に伝えるための準備をしよう。

(2) 本時の評価規準

- ・スーパーマーケット見学で集めた材料を活用して、発信に必要な情報を整理し表現できる。

(3) 本時の判断基準

おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)への支援
スーパーマーケット見学で集めた材料を活用して、発信に必要な情報を整理し表現できる	今までにまとめたデータ・しおり・パンフレットなど、様々な情報媒体を利用できるようにする。 パソコン・紙・音声など、自由な方法で表現できるようにする。

(4) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準	研究との関わり
前時をふり返し、本時の学習課題を確認する。 【学習課題】 <u>STA(スーパーマーケット探究アドベンチャー)を伝えるための準備をしよう。</u> 「めあて」を設定する。 前時までにスプレッドシートでまとめてきた内容、自分たちで作ったしおり、冊子などを活用して、何をするかを相談しながら、作成していく。 「ふり返し」を記入する。	スプレッドシートに記入した前時の学習内容や「ふり返し」から、本時の学習課題を達成するために何を「めあて」にすべきかを確認する。 友だちと相談しながら作ってもよい。 困っているグループには声かけ・支援をおこなう。 本時の「めあて」に対してのふり返しや次時を見通した自分の課題などを書けるようにする。	【思判表】今まで学習したことで、必要に応じて適切な事柄を選んでいる。〔観察・発言〕 【主】本時で学習したことをふり返し、今後の学習にいかす意欲をもっている。〔記述〕	個別最適な学びのうち、「学習の個性化」の機会を確保する。 スプレッドを活用して、「めあて」や「ふりかえり」を共有する。